



ITU-T SG17 (セキュリティ) 第1回会合報告



KDDI株式会社 運用本部
セキュリティオペレーションセンター
マネージャー

せんが わたる
千賀 渉



株式会社KDDI総合研究所
スマートセキュリティグループ
グループリーダー

みやけ ゆたか
三宅 優

1. はじめに

ITU-T SG17 (セキュリティ) の第1回会合が、2017年3月22日 (水) ~ 30日 (木) にスイス (ジュネーブ) のITU本部において開催された。2016年の10 ~ 11月に開催されたWTSA-16 (2016年世界電気通信標準化総会) 後の初会合であり、日本からの8名を含む、37개국4機関から148名の参加があった。提出された寄書は81件 (うち日本から6件) で、380件の臨時文書 (Temporary Document) が発行された。

2. SG17全体に関わる結果

2.1 SG17の新体制

WTSA-16の結果、前会期まで副議長を務めた韓国のYoum氏が新議長に、また日本の三宅 (KDDI) を含む9名が副議長に選出された。12の研究課題 (Question) は、そ

のまま継続することが承認された。

新研究会期の初会合となる今回の会合では、WP構成や各課題レポートの選任などSG17の体制に関する議論が行われた。Youm議長の提案により、WP構成については前会期と大きく変わる事となった。主な変更点は、次のとおりである。

- ・ WPの構成を見直し、5WP体制から4WP体制に変更した。
- ・ 課題間の調整や他のSG・外部標準化機関との連携促進を担当する課題1は、WPに属さずSG17直属の課題とした。
- ・ WPレベルのマネジメントを強化するため、各WPに副議長職を新設した。

表1にSG17の新体制を示す。

■表1. SG17の新体制 (敬称略)

SG	WP	課題	タイトル	議長/レポート	副議長/アソシエイトレポート
17	Security	セキュリティ		Heung Youl YOUM (韓国)	Vasiliy DOLMATOV (ロシア) Gökhan EVREN (トルコ) Inette FUREY (アメリカ) Muataz Elsadiq ISHAG (スーダン) Patrick-Kennedy KETTIN ZANGA (中央アフリカ) Zhaoji LIN (中国) Hugo Darío MIGUEL (アルゼンチン) 三宅 優 (KDDI) Wala TURKI LATROUS (チュニジア)
	→	1	Telecommunications / ICT security coordination 通信/ICTセキュリティコーディネーション	Wala TURKI LATROUS (チュニジア)	Paul NAJARIAN (アメリカ) Cai CHEN (中国) 千賀 渉 (KDDI) Yiwen WANG (中国)
	1		Telecommunications / ICT security 通信/ICTセキュリティ	三宅 優 (KDDI)	Vasiliy DOLMATOV (ロシア) Gökhan EVREN (トルコ)

	2	Security architecture and framework セキュリティアーキテクチャ及びフレームワーク	Zhiyuan HU** (中国) Heung Ryong OH** (韓国)	Emna CHAABANE (チュニジア)
	3	Telecommunications information security management 通信事業者向けの情報セキュリティマネジメント	永沼 美保 (NEC)	Kyeong Hee OH (韓国) Andrés FISCHER (アルゼンチン)
	6	Security aspects of telecommunication services, network and Internet of Things 通信サービス、ネットワーク及びIoTのセキュリティ面	Jonghyun BAEK (韓国)	高橋 健志 (NICT) Bo YU (中国) Maria Eugenia Pazo Robles (アルゼンチン)
	13***	Security aspects of intelligent transport systems	Sang-Woo LEE (韓国)	Aram CHO (韓国)
2		Cyberspace security サイバー空間のセキュリティ	中尾 康二 (NICT)	Inette FUREY (アメリカ)
	4	Cybersecurity サイバーセキュリティ	門林 雄基 (NICT)	Jong-Hyun KIM (韓国) Eduardo CASANOVAS (アルゼンチン)
	5	Countering spam by technical means 技術的手法によるスパム対策	Yanbin ZHANG (中国)	ChangOh KIM (韓国)
3		Application security アプリケーションセキュリティ	Arnaud TADDEI (アメリカ)	Zhaoji LIN (中国)
	7	Secure application services セキュアなアプリケーションサービス	Jae Hoon NAH (韓国)	Lijun LIU (中国)
	8	Cloud computing security クラウドコンピューティングセキュリティ	Liang WEI (中国)	Sang-Woo LEE (韓国)
	12	Formal languages for telecommunication software and testing 通信ソフトウェアとテストのための形式言語	Dieter HOGREFE (ドイツ)	Gunter MUSSBACHER (カナダ) Martin DUHALDE. ENACOM (アルゼンチン)
4		Identity management and authentication ID管理及び認証	Kepeng LI (中国)	Jae Hoon NAH (韓国)
	9	Telebiometrics テレバイオメトリクス	John George CARAS (アメリカ)	Kepeng LI (中国)
	10	Identity management architecture and mechanisms ID管理のアーキテクチャ及びメカニズム	Abbie BARBIR (アメリカ)	武智 洋 (NEC) Junjie XIA (中国)
	11	Generic technologies to support secure applications 安全なアプリケーションをサポートするための基盤技術	Jean-Paul LEMAIRE (フランス)	—

* 課題1はWPに属さない

** 共同ラポーター (Co-rapporteur)

*** 5月に行われたTSAG会合にて、新課題設立が正式に承認された

2.2 ブロックチェーンに関するワークショップの開催

会合前日の3月21日(火)にブロックチェーンをテーマとしたワークショップ (Security Aspects of Blockchain) が開催され、各国の政府系機関や金融機関、セキュリティベンダなどの関係者による講演やパネル討論を通じて、活発な議論が行われた。本ワークショップ終了後、SG17からTSAGに対してブロックチェーンに関する新しいフォーカスグループ (FG) の設立を提案することとなった。

2.3 アラブ地域グループの設立

チュニジア (Ms. Latrous副議長) からの提案により、SG17内の2つ目の地域グループとなる、アラブ地域グループ (SG17RG-ARB) が設立された。2017年の後半に、既存のアフリカ地域グループと合同でキックオフ会合を開催することを計画している。



2.4 ITSセキュリティを扱う新課題の設立提案

ITS (Intelligent Transport Systems) のセキュリティを扱う新課題の設立に関する議論が行われ、TSAGに課題13 (Security aspects of ITS) の新設を提案することに合意した。これまではITSセキュリティに関する検討は課題6で行っていたが、本提案が承認されれば審議中の勧告案も含めて新課題に移管されることになる。

また、次回のSG17会合 (2017年8月～9月) に合わせて、ITSセキュリティをテーマとしたワークショップを開催することとなった。

3. 会合の主な審議内容と結果

3.1 WP1：電気通信／ICTセキュリティ

WP1は、各種サービスに必要とされるセキュリティアーキテクチャとフレームワークの検討を行う課題2、ISO/IEC JTC1 SC27との連携をベースに通信事業者における情報セキュリティマネジメントに関する検討を行う課題3、モバイルセキュリティやUSN (Ubiquitous Sensor Network) セキュリティ、IoTセキュリティに関連した検討を行う課題6から構成される。

- ・課題2では、SDNに関する1件の新規ワークアイテム (X.sdnsec-3) の設立が承認された。
- ・課題6では、携帯電話の盗難防止対策に関するセキュリティ機能要件を規定する、勧告X.1127をデターミネーションした。また、日本 (KDDI) から提案を行った、IoT環境におけるプライバシー情報の取り扱いに関する新規ワークアイテム (X.iiotsec-3) の設立が承認された。

3.2 WP2：サイバー空間のセキュリティ

WP2は、CYBEXをはじめとするサイバー空間上の様々な脅威に対する具体的な対策やガイドラインの検討を行う課題4、技術的な観点からスパム対策の検討を行う課題5から構成される。

- ・課題4では、インシデント情報の記述フォーマットを規定する勧告X.1541の改訂及び、スマートフォンのボットネット対策の新規勧告X.1213をデターミネーションした。また、X.1500 Appendix Iの改正 (Amendment) をアグリーメントした。新規ワークアイテムとして、脅威情報構造化記述形式STIXのユースケース (X.ucstix) の設立が承認された。
- ・課題5では、インスタントメッセージにおけるスパム

対策の技術的要件を規定する勧告X.1248をデターミネーションした。また、スパム広告対策に関する新規ワークアイテム (X.tfcas) の設立が承認された。

3.3 WP3：アプリケーションセキュリティ

WP3は、Webサービスやアプリケーションサービス、P2Pで必要とされるセキュリティ技術の検討を行う課題7、クラウドコンピューティングにおけるセキュリティに関わる検討を行う課題8、仕様記述言語や統一モデリング言語 (UML)、開放型分散処理 (ODP) などの検討を行う課題12から構成される。

- ・課題7では、通信サービスのオープンな機能に関するセキュリティフレームワークと要件を記述する勧告X.1145をコンセントした。
- ・課題8及び課題12では、今会合でデターミネーションまたはコンセントされた勧告等はなかった。

3.4 WP4：ID管理及び認証

WP4は、生体認証技術を通信環境で利用するための標準規格の検討を行う課題9、ID管理に関連する技術やサービスについて検討する課題10、X.509を含むPKI関連技術とASN.1/OID関連の検討を行う課題11から構成される。

- ・課題9では、スマートIDカードを用いた生体認証によるアクセス制御に関する新規ワークアイテム (X.tac) の設立が承認された。また、勧告草案X.th13がワークアイテムから削除された。
- ・課題10では、エンティティ認証のための4つの保証レベルを規定する勧告X.1254の補足文書として、同勧告のユースケース等を記述する新規ワークアイテム (X.sup-1254rev) の設立が承認された。
- ・課題11では、ASN.1に関する2件の勧告 (X.680及びX.696) の技術的訂正 (Technical Corrigendum) をコンセントした。また、勧告草案X.cmsがワークアイテムから削除された。

4. 今後の会合の予定について

今回のSG17会合は、2017年8月29日 (火) ～9月6日 (水) にスイス (ジュネーブ) で開催される。また会合前日の8月28日 (月) には、ITSをテーマとしたワークショップを開催する予定である。

次回までに開催される中間会合等の予定を表2に示す。



■表2. 今後の関係会合の予定

会合名	開催期間	開催地	会合内容
課題2中間会合*	2017年6月22日～23日	韓国、ソウル	課題2のワークアイテム全て
課題3中間会合*	2017年6月22日～23日	韓国、ソウル	X.sgs、X.sup-gpim、X.sup-rgm及びX.sup13-rev
課題6中間会合*	2017年6月22日～23日	韓国、ソウル	課題6のワークアイテム全て
課題8中間会合	2017年6月27日～28日	中国、北京	課題8のワークアイテム全て
課題4中間会合	2017年6月29日	日本、東京	課題4のワークアイテム全て
課題3、4、10合同中間会合	2017年6月30日	日本、東京	DFS (Digital financial services)
課題10中間会合	2017年7月3日	日本、東京	課題10のワークアイテム全て
課題13中間会合	2017年7月14日	韓国、ソウル	課題13のワークアイテム全て
ワークショップ	2017年8月28日	スイス、ジュネーブ	ITSセキュリティをテーマとしたワークショップ
SG17会合	2017年8月29日～9月6日	スイス、ジュネーブ	

*課題2、課題3、課題6の中間会合は、同一日程・会場でのコロケート開催

5. おわりに

Youm新議長のもと、新たな4年間の研究会期がスタートした。9名の副議長のうち8名は新任の副議長であり、更にそのうちの6名は今回がSG17会合に初参加である。また、SG17を担当するTSBのカウンセラーも今会期から交代し、フレッシュな顔ぶれのマネジメントチームとなった。

ITSセキュリティを扱う新課題の設立は、近年のつながる車やITS（高度道路情報システム）への関心が高まる中、そのセキュリティの重要性も増々高まっていることを背景としている。日本が中心となって規格化を進めてきた、

ITSデバイスのソフトウェアモジュールを遠隔からアップデートするための勧告X.1373は今回の会合でアプルーブされ、SG17におけるITS関連の最初の勧告が成立した。引き続き、新設された課題13においてITSセキュリティに関する勧告策定を進めていくことになるが、いかに他のSGやSDOとの協調や連携ができるかがカギとなると考える。

ブロックチェーンやFinTech、ビッグデータセキュリティなど、新たなトピックに関する議論も始まりつつある。新体制のもと、前会期以上の成果を生み出せる4年間となることを期待したい。